



2005. 7
第 38 号

大学婦人協会東京支部

- ・東京支部総会報告・規約改正の報告
- ・記念講演「少子高齢化社会と女性問題」一番ヶ瀬康子氏
- ・中東女性交流とNGOの活動

大学婦人協会は、この一年の間に様々な問題を持つようになってまいりました。全国総会では国内奨学生のための募金の設立もようやく決まりました。

募金については、意見も様々ですが、財政難の現状においてはどうしても避けられない問題であり、その根本にあるのは近年続いております会員の減少という動かしがたい現実

東京支部長 佐々木 澄子
桜が満開の横浜での全国総会に引き続き、東京支部総会が四月十六日に開催され、改めて一年間の時の経過を実感いたしました。ほとんどの委員が新しい仕事に取り組まなければならぬという不安に満ちた出発でしたが、この一年間委員各位が、おのおのの努力の結果、スムーズに委員会の仕事をやり遂げることができ、委員相互のコミュニケーションも培われました。



「二年目を迎えて」
―急がれる会員の増加―

前年度は、常に会員の増加を念頭に入れ、努力してまいりましたが、結果として二十三名の減少に終わりました。今年度は、年齢別会員数の把握、減少を食い止めるために何か方策は無いものか等、以前にも増して会員増加に重点を置き活動していきたいので、会員の皆様にもご協力のほどお願い致します。また、それに関連し、皆様がお友達に入会をお勧めいただけるよう、魅力ある活動を展開したいと思っております。事業費を十分に活用し、講演会をはじめ、「ともしび」、バザー等、前年度にも増して意欲的にやっております。一同、張り切っております。

今年度は調査研究費を復活いたしました。前年度の全国セミナーで発表いたしました子育て支援について追跡調査いたしたく、これに関しましては委員以外の方々のご参加も歓迎いたします。また、この調査研究は、今後の委員会活動の柱の一つとして位置づけていきたいと思っております。

幸い委員一同、一年間の経験を踏まえ意欲十分ですので、どうぞ皆様、よりの確なご指導とご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

(社)大学婦人協会東京支部規約改正について

- ① 規約第15条1「基本財産から生ずる収益」を「事業準備金およびその収益」に改正。
- ② 規約第15条3「資産表および」を削除。
- ③ 規約第16条4「この規約は、平成17年4月16日から一部改正し施行する。」を追加。

東京支部総会で以上のように規約改正が承認されましたのでご報告致します。

(社)大学婦人協会東京支部委員会

2004年度(社)大学婦人協会東京支部決算報告書

2005年度予算

2004. 4. 1 ~ 2005. 3. 31

2005. 4. 1 ~ 2006. 3. 31

収入の部

(単位 円)

科 目	予算額	決算額	差異	備 考	予算額	備 考
I 会 費 収 入	1,305,000	1,258,000	-47,000	419口	1,254,000	418口
II 基本財産利息収入	100	43	-57		50	
III 運用財産利息収入	100	7	-93		10	
IV 寄 付 収 入	300,000	382,035	82,035	バザー サークル 講演会一般参加費 他	300,000	バザー サークル 講演会一般参加費 他
V 雑 収 入	30,200	30,200	0	入会還付金 賛助会員還付金 他	30,800	入会還付金 賛助会員還付金 他
A 当期収入合計	1,635,400	1,670,285	34,885		1,584,860	
B 前期繰越金	737,089	737,089	0		567,117	
C 収入合計(A+B)	2,372,489	2,407,374	34,885		2,151,977	

支出の部

科 目	予算額	決算額	差異	備 考	予算額	備 考
I 管 理 費	1,050,000	1,022,964	-27,036		1,070,000	
(1) 備 品 費	10,000	0	-10,000		10,000	
(2) 消 耗 品 費	110,000	88,319	-21,681	コピー代 用紙 他	110,000	コピー代 用紙 他
(3) 印刷製本費	30,000	41,500	11,500	支部のお知らせ 封筒 他	50,000	支部のお知らせ 封筒 他
(4) 通 信 費	300,000	291,645	-8,355	支部のお知らせ ともしび 本部会報 他	300,000	支部のお知らせ ともしび 本部会報 他
(5) 交 通 費	30,000	31,500	1,500	発送交通費	30,000	発送手当
(6) 本部への分担金	570,000	570,000	0	本部への分担金	570,000	本部への分担金
II 運 営 費	120,000	121,016	1,016		120,000	
(1) 総 会 費	80,000	81,419	1,419	会場費 他	80,000	会場費 他
(2) 委 員 会 費	40,000	39,597	-403		40,000	
III 事 業 費	600,000	692,277	92,277		620,000	
(1) 一 般 事 業 費	500,000	592,277	92,277	ともしび(2回) 講演会 寄付 他	500,000	ともしび(2回) 講演会 寄付 他
(2) 国内奨学金	100,000	100,000	0	国内奨学金寄付	100,000	国内奨学金寄付
(3) 調査研究費	0	0	0		20,000	
IV 雑 費	10,000	4,000	-6,000	会計監査手当	10,000	
V 予 備 費	10,000	0	-10,000		10,000	
D 当期支出合計	1,790,000	1,840,257	50,257		1,830,000	
E 当期収支差額(A-D)	-154,600	-169,972	-15,372		-245,140	
F 次期繰越金(C-D)	582,489	567,117	-15,372		321,977	

基本財産状況：普通預金 ￥4,360,000 中央三井信託銀行新宿西口支店
 運用財産状況：繰越金 普通預金 ￥484,762 中央三井信託銀行新宿西口支店
 現金 ￥82,355

会 計 田辺範子 森川淳子

厳正に監査いたしました結果、正確に記載されており、間違いのないことを証明いたします。

2005年4月16日

会計監査 坂上栄美子 三浦由紀子 (印省略)

〈東京支部総会記念講演〉

「少子高齢化社会と

女性問題」

講師 一番ヶ瀬 康子氏



の限界。そのために互助ボランティアの必要性、第四に老いてなお学び続けようということであった。日本社会は、高齢化に入つたといわれている。国連によると、高齢社会とは全人口中六十五歳以上人口が十四%を超えた場合をいい（ちなみに高齢化社会とは七%を基準にしている）、その速度は主要な国の中で、最近、我が国はわずか二十四年で到達した。また、各国とも女性の占める割合が高い。それは第二十八回（二〇〇四年）IFUW総会で採決された決議にも明らかである。

二〇〇五年四月十六日（土）、東京支部総会での基調講演は、一番ヶ瀬康子先生により表記のようなタイトルで行われた。まさに時宜を得たお話であった。日本はいま、少子高齢化により社会全体に変化が起き始めているし、男性より長命な女性の老後生活をクローズアップさせているからである。

講演のポイントは、次のようになるのか。第一に進行する高齢化の中での年金への関心と不安、第二に女性の低年金と介護の問題、第三に自助としての貯蓄と、子どもへの期待

私の心に響いたのは、先生が「阪神・淡路大震災復興記念」その後の十年（神戸支部）の冊子を手にして言われたことである。「この中にこういう一節がある。その年の春、神戸で開かれるはずの総会はいいになつた。：混乱の地域社会にむかつてボランティアなどで大学婦人協会が機能する場をなぜ持てなかったか。と問い直しているが、大切なことではないか。」と。講演が始まる前、受付に積んであった冊子を取り、私の話しかけなど耳にも入らず、読んでいらしたご様子と共に心に残った。それともう一つ「高学歴の女性の中には、社会福祉にかかわる方が多

い。」とおっしゃっていた点である。くわしくはなかったが、石井筆子にふれておられた。筆子は、日本で最初の知的障害者施設を創った。家庭教師の教育で二カ国語を駆使、津田梅子と共に華族学校で教え、公式訪米などはたしている。まさに高等教育を受けた女性であった。野口幽香、山高しげり等は東京女子師範学校（お茶大）卒、三田庸子は日本女子大出身など校挙にいとまがない。そして最後に「大学婦人協会もこうしたボランティアなこととしてください」と結ばれたのである。

(林 千代)

〈東京支部総会報告〉

書記 細田 照子

2005年度東京支部総会は、4月16日（土）津田ホール内会議室で開催されました。

支部会員数461名中、総出席者数75名、有効委任状提出者数186名で総会は成立。

佐々木支部長の挨拶に続き議事に入り、2004年度事業報告、決算報告及び会計監査報告が行われ承認されました。

次に審議に移り、規約改正につい

て支部長より説明があり支部規約第15条1、第15条3、第16条4の改正を承認。続いて2005年度の事業計画案、予算案も審議承認されました。



議事終了後、JAUW今井会長よりご挨拶を頂き通常総会のご報告がありました。

記念講演は、一番ヶ瀬康子氏の「少子高齢化社会と女性問題」という演題で行われました。

以前、社会福祉委員長をなさっていたとの事で、大学婦人協会も是非ボランティアをこれからも長く続けてくださいと話されました。

〔第四八回通常総会報告〕

副支部長 福士 仁三代

全国総会は4月9・10日横浜で開催された。今年は寒い日が続いていたにもかかわらず満開の桜のもとでの総会となった。

初日は評議委員会、支部長懇談会、夜には懇親会が開かれた。

下野昇さんの楽しいトークを交えてのコンサートは懐かしい日本の歌など、テノールの響きに会場は暖かく包まれた。

懇親会後、青木玲子さん、房野桂さんによる「パースIFUW総会の報告会」が開かれた。77の加盟国を持つIFUWの役割、国連との関係、財政的な実状など、IFUWの国際的な立場を理解する上で貴重な機会であった。

翌日の総会には、25支部、188名（東京支部からは約80名）が出席した。

今井会長を議長に、例年どおり各委員会、国庫補助事業などの活動報告があった。今回は前日の支部長懇談会の報告も行われ、国内奨学金やJAUWの活動内容に関する事など、各支部長から活発な意見や要望が出された。本部の動きを常に見聞

きできる東京支部と異なり、直接接する機会の少ない各支部の抱える問題点や実状を窺い知ることができた。

午後からは審議・懇談が行われた。国内奨学金資金設立のための募金事業は、パワーポイントを使った財政状況の詳しい説明の後、活発な審議を経て可決された。また2004年度で終了した国庫補助事業に代わる事業については今後の課題であるものの、今年度は「日本・中東女性交流」の担当団体としての事業を実りあるものにしたいとされた。

横浜は10年前、阪神・淡路大震災直後の通常総会とIFUW総会が開かれた地と聞く。その頃のJAUWを知らない私は「大学婦人協会五十年史」を開いてみた。10年前からさらに遡ること50年に亘り諸先輩の築かれたものの大きさに改めて感慨を覚えた。

神奈川支部の皆様には、磯子の丘の春を思わせる暖かいおもてなしに御礼を申し上げます。

（次期総会は2006年4月8・9日、秋田開催予定）

〔東京支部講演会〕

（'05・5・29）

女性のつくる21世紀の平和構想

―暴力の連鎖を解くために―

講師 竹中 千春氏



私たち女性が21世紀の平和のために何ができるのかということについて明治学院大学国際学部の竹中千春教授にお話を伺った。

先生は国際政治学がご専門であり、ガンディーの非暴力主義に深い感銘を受けてこの道に進まれた。インド現代史、民族・宗教紛争、平和と女性に関する著作も数多い。

安全で豊かな世界を作るには戦争や暴力の連鎖を止めていかななくてはならないが、そのためには暴力の文化から非暴力の文化への脱却をはからなくてはならない。先生から「皆さんはご自宅から千駄ヶ谷のこの会場まで来るのに命の危険を感じまし

たか？」と尋ねられた。私たちは大笑いをしてしまったが、世界には紛争地域に生まれ、貧困と暴力以外の社会を知らない人は多い。命の危険なしに外を歩けない人や国があるのだ。

暴力のない世界を作るには人を殺さないという確固とした信念を持つことが最も大切である。そのためには女性が主体となった日常からの平和構築と仲間作り（コミュニケーション形成）が必要だと述べられた。暴力の供給を無くすネットワークを共同で学んで作り上げ、次の世代に繋げていくことが平和と豊かさを生み出すということだ。

会場では活発に質問も出て、参加者の関心の高さが頼もしかった。

（堀内 洋子）



会員増加へのご協力をお願い
東京支部の会員が減少しております。ご家族やご友人への勧誘を是非お願いします。

東京支部主催の行事・講演会・見学会・サークルにお誘いください。

JAUW中東女性交流 〔東京支部〕共催

(05・3・12)

中東女性交流とNGOの活動

―その発展過程と今日の意味―

講師 山口 みつ子氏

本年度、JAUWが全国的な事業として企画している「日本・中東女性交流」は、「国連NGO国内婦人委員会」の主催、外務省の後援という形で行われる。では、国連NGO国内婦人委員会とは、どのような組織なのだろうか。また、中東女性交流はどのように始められ、今日に至っているのだろうか。

今回は、これらを最も熟知しておられる山口みつ子氏を講師にお迎えし、三月十二日に四谷地域センターでお話を伺った。

同氏は現在、(財)市川房枝記念会常務理事、国連NGO国内婦人委員会事務局長などを務めておられる。

日本が国連に加盟したのは、一九五六年十二月の第十一回総会。その前年にJAUWなど、国際組織に属している五つの女性団体が、外務大臣に「国連の代表団に女性も！」という要望書を提出したが、このような動きにさらに二団体が加わり、一

九五八年八月一日に国連NGO国内婦人委員会が結成され、日本における初のNGOがスタートした。現在は十団体が加盟し、第十二回総会以来、このNGOが推薦した女性が政府代表団の一員として、国連総会第三委員会に出席し、大きな働きをしてきた。JAUWからはこれまでに数名が代表となつて活躍をしてきているが、一九七九年の「女子差別撤廃条約」採決に際して賛成のボタンを押したのは、その一人である中村道子元JAUW会長であった。さらに、その後のNGO委員会の努力で国内法が整備され、差別撤廃条約批准への推進役を果たすなど、今日まで多くの活動をしてきている。

一九九五年に日本・ヨルダン間の文化交流が調印され、外務省の仲介によつて九六年一月にヨルダンから五名の指導的立場の女性を招き交流プログラムを持ったのが、中東女性交流の始まり。その後エジプト、パレスチナが加わつたが、国連NGO国内婦人委員会が主催し、加盟十団体が順に担当団体となつて実施して、今年は十年の節目を迎える。中東との交流・相互理解こそが平和への道と語る山口氏は、今年度の「日本・中東女性交流」への期待を込め

て講演を締めくくられた。

〔参考資料〕国連NGO婦人委員会編「国連・女性・NGO」(発行(財)市川房枝記念会)

(阿部 幸子)



〔第7回守田科学研究奨励賞贈呈式〕

(05・5・7)

今回の受賞者は奈良女子大学理学部助教授の肥山詠美子博士(原子核物理学・九大院卒)とテーマセク生命科学研究所室長・シンガポール国立大学理学部併任助教授の堀麻希博士(細胞生物学・北大院卒)である。

肥山博士は物理学の基本的な課題である「量子力学的小数粒子系の問題を精密に解く」計算方法を大学院在学中に提唱し、それを活用して原子核物理学や宇宙物理学の課題に貢

献している。当時の指導教授はその積極性・熱意について述べられた。

堀博士は「細胞分裂で細胞が二つの娘細胞に均等に分配される」様子とその原因を解き明かすことに挑戦している。共同研究者はその優れた実験技術と積極性を述べられた。

贈呈式はアルカディア市ヶ谷で開催された。会長挨拶・選考経過報告・賞の贈呈後、受賞講演が行われた。共に基礎的な研究であるが話は解り易く優れた女性研究者の成長が伺われた。会員多数参加の盛会だった。

(平川 暁子)



〈国内奨学金受賞者のエッセイ〉

「児童労働への関心と

国際法の役割」

早稲田大学法学研究科

岩下奈々絵

私はもともと家庭の事情から、また女子が教育を受けることに関する周囲の意識からも、必ずしも高等教育が当然とはいえない環境にいました。それだけに、途上国で子どもたちが貧困のため初等教育さえも満足に受けられず働かざるをえない状態にあることや、特に女の子が様々な面でジェンダーの差別にさらされて不利を被り、人生の選択の幅を狭められている事実には我が事のように心が痛みます。

そこで途上国の児童労働問題に着目してきたのですが、その過程で、法が問題解消に果たせる役割の限界や、途上国における法の形骸化という現実突き当たることになりました。

しかしそれだからといって法が軽んじられるべきではないこともまた事実です。明文規定で権利の保障や規制がなされていないければ、それに基づいて権利実現や救済の要求をなし、不履行に対して国家の責任を問

う根拠さえも失う事になります。

さらに子どもの人権の保護や搾取的な子ども労働の規制に関しては、子どもの権利条約や国際労働機関の関連条約の非常に広範な批准という形で、国際法上の履行義務が普遍的に受け入れられています。

したがってその不作為は国際社会の目にも明らかにされ、その責任を厳しく問われることになります。それによって、法が十分に機能しない国に関しても何らかの行動が促されることが期待されます。

また近年問題となっている人身売買など国際的な犯罪が絡んだ子どもの搾取について、各国間での罰則の平準化や、国際刑事司法協力の調整という意味での国際法の役割の増大も見逃せないものがあります。統一が難しいといわれる刑事法分野での対策の促進が、子どもの一層の保護につながることを信じます。

そして今後もこのような多面的なアプローチを駆使して、子どもの保護について研究を深めていこうと考えています。



〈情報委員会からのお願い〉

「ノート型パソコン

お譲りくださいー

今日では、ICT機器を使わずに生活ができないといっても過言ではないのではないのでしょうか。今までにないスピードで、ICT機器が日常生活全般に普及し、また、それら機器の進歩(う)、変化には瞠目させられます。実際、情報の受発信にパソコンは欠かせないものとなっています。

情報委員会では、本部事務所でパソコン教室を開いています。パソコンと初めて付き合う方、パソコンに興味をお持ちの方たちといっしょに、パソコンアレコレを学び合っています。いっしょに疑問を解明し、スキルアップすることを目標に、楽しくワイワイ集っています。

是非、覗きにきてみてください。日程は事務所にお問い合わせください。

この教室をより多くの方にご利用いただけるように、パソコンを用意したいと考えています。お手許に不要のパソコンがありましたら、活用させていただきませんか。お譲りいただける方は事務所ま

でご連絡ください。

機種は「Windows 98以降のパソコンのノートパソコン」に限らせていただきます。



教室へのご参加、パソコンのご提供、お待ちしております。ご協力よろしくお願ひいたします。

(福田 満代)



私たちのサークルに 入りませんか?

今号から順次サークルのご紹介をしていきます。

楽しい俳句会

小池 朋子



俳句は
わずか十
七文字の
短い詩で
すが、大
きな世界
や人生を
詠むこと
ができま
す。
毎月の
句会では
四句投句
し、各々
特選に採った句について自分の感想
を述べます。また、先生が一句ずつ
丁寧に講評してください。それ
ぞれの句から、作者の意外な私生活
や人柄も窺うことができ、共感した
り大笑いしたりして、楽しい時間を
過ごしています。

昨年は念願の合同句集「青胡桃」
を上梓しました。

青柳や織り手替わりし機音

青梅雨を真直に刺りぬ横須賀線

波頭鋭角となり夏きざす

板前の赤絵の皿に夏を盛る

オカリナの音色を乗せて風涼し

ありがたうの絵手紙はみだす紅椿

「テアツクレ」「アシデアルケ」と

ほととぎす

五歳児のバッター姿や新樹光

のびあがりまた横たわり猫の夏

新樹光御目伏せたる石地蔵

残雪に響くむ伐採の杉の音

花の下若き母あり満行す

富子

玲子

夏子

恭子

朋子

英子

栄美子

洋子

和子

昭子

邦子

れい子

各係のチーフからの メッセージ

◆会員係

係の仕事も二年目に入りました。
会員の皆様に会報と講演・見学会の
お知らせを確実にお届けできるよう
今年度も会員委員会と連携しながら
パソコンでの名簿管理や宛名シール
作成に努めて参ります。住所変更等
のご連絡はお早めに支部にご連絡く
ださい。

(長谷川千恵子・三浦久子)

◆講座・見学係

本年度は、4月に日本女子大学名
誉教授一番ヶ瀬康子氏、5月に明治
学院大学国際学部教授竹中千春氏の
講演会が無事終了しました。6月29
日に日本銀行本店・金庫見学を予定
しております。この企画は大変好評
で、多数の皆様のお申し込みがあり、
1回目は締め切りました。11月に2
回目の見学会を予定しております。
どうぞご参加ください。

(早瀬暢子・渡辺加代)

◆バザー係

お陰様で昨年度も無事に奨学金の
一助とさせていただきます。できま
した。本年度は例年行われていた十
月の全国セミナーでのバザーの開催
が、期待できなくなりました。

バザーの場や方法を見直す時だと
考えております。

ビーズアクセサリーやバックの注
文制作を始めました。お好みのビー
ズ、綺麗なタオルやお手持ちの布で
仕上げ、好評をいただいております。
日頃会員の皆様に品物やアイデア

を提供していただき感謝しておりま
す。

今後とも宜しくご協力お願い申し
上げます。

(吉原 雅子)

◆サークル係

会員相互の親睦を図るため、東京
支部では現在五つのサークルが活動
中です。趣味も勉強も楽しむことが
できたら、と言う方々の集まりで
す。会員の皆様のご入会をお待ちし
ています(詳しくはサークル紹介の
欄をごらんください)。

(福士 仁三代)

◆「ともしび」係

東京支部の活動の報告、お知らせ
を載せて年二回発行しています。

東京支部も「会員の減少」という
問題が浮上してきました。そこで東
京支部の会員の増加に繋がるような
紙面づくりを考えていきたいと思っ
ます。

皆様のご意見・ご指導をいただい
たらと思います。また、原稿も募集
しております。どうぞ、気軽に「と
もしび」までお申し出下さい。

(端本 和子)

事業報告・予定

4・9 JAUW(於・横浜)

10 第48回通常総会

4・16 東京支部総会

記念講演「少子高齢化社会と女性問題」

と女性問題」

講師 一番ヶ瀬康子氏

5・7 守田科学研究奨励賞

贈呈式

5・25 講演会「女性のつくる21世紀の平和構想」

講師 竹中千春氏

6・29 見学会「日本銀行本店・金庫の見学」

見学会「日本銀行本店・金庫の見学」

7・1 「ともしび」第38号発行

「ともしび」第38号発行

7 調査研究

講演会

9 見学会「日本銀行本店・金庫の見学」

見学会「日本銀行本店・金庫の見学」

12 第5回自然科学講演会

科学研究奨励委員会と共催

1 新春の集い・国内奨学金贈呈式

科学研究奨励委員会と共催

3 講演会

3・1 「ともしび」第39号発行

以後の事業は追ってお知らせします。

今年度からの新委員

「どうぞよろしく」

昨春秋よりお仲間に入れていただきました。

生き生きと活動する支部の先輩諸姉に学びながら、少しでもお役に立てたら、また自分が楽しめたらうれしいです。

濱田和子

「さし絵入り英国史」を講読中。

講師・松本節也元法政大学教授

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

講師・大久保地域センター三階

数名の余裕があります。初心者も歓迎します。また、見学も歓迎いたします。

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

講師・小池朋子

午後一時半～三時半

JAUW事務所会議室

講師・河井尚子会員

初心者歓迎です。お花と向き合う時間を楽しみましょう。若干名、余裕があります。

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

講師・山崎邦子

ともしび 三十八号 発行日 二〇〇五年七月一日 発行 社団法人大学婦人協会東京支部 編集ともしび係

〒100-0001 新宿区左門町十一番六、一〇一

Tel 〇三・三三三・五八二・二八八二 印刷 タナカ印刷株式会社

Fax 〇三・三三三・五八二・二八八二

(編集委員一同)